



東邦大学理学部公開講座／船の科学館特別講演会  
鳥島アホウドリ調査100回記念講演会

# アホウドリ：未来への飛び立ち

日時：2008年12月20日(土) 14時～16時 ※講演は入場無料

場所：船の科学館本館 (新交通「ゆりかもめ」新橋駅より(17分)「船の科学館」下車、徒歩数分)  
(くわしくは、<http://www.funenokagakukan.or.jp>)

## 開会の挨拶 14:00～14:15

風呂田利夫 (東邦大学理学部・教授)

森田文憲 (船の科学館・館長)

## 講演 14:15～15:45

長谷川博 (東邦大学理学部・教授)

「個体数10倍：鳥島における保護の成功」

\*朝日新聞社

「アホウドリ小笠原移住写真展」の案内

出口智広 (山階鳥類研究所・研究員)

「新たな挑戦：小笠原諸島鴛島への移住」

## 総合討論と閉会 15:40～16:00

長谷川雅美 (東邦大学理学部・教授)

懇親会 16:30～18:00 (レストラン「海王」にて)

懇親会 (兼忘年会、会費約4000円) に参加を希望される方は、  
葉書かFAX. で、12月12日までに下記に予約をお願いします。

274-8510 船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部生物学教室

長谷川 博 (FAX. : 047-472-5236)

羽毛を採るために乱獲され、一時、「絶滅」したと考えられた大型海鳥アホウドリは、人間による長年の積極的保護活動が実を結び、全体で約500つがい、およそ2500羽に回復しました。

さらに、今年の春、鳥島から10羽のひなが小笠原諸島に運ばれ、そこに繁殖地を形成する大計画が国際協力によって始められました。

アホウドリのひなが誕生しはじめる年の瀬に、この美しい鳥の未来を展望しましょう!